令和５年第４回黒部市議会９月定例会
提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表・個人）通告要旨

■提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表）

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民志創会 成川正幸	１　「広報での情報発信について」 (1)　市民交流センター「あおーよ」開館を契機に、今までの広報くろべの内容（見せ方）を工夫したり、ページ数を今後、増やす考えはないのか伺う。	総務管理部長
		２　「市民からの声について」 (1)　市民の声を集約するアプリ導入の検討をしてはどうかも含めて見解を伺う。	総務管理部長
		３　「地域おこし協力隊について」 (1)　今後、地域おこし協力隊募集にあたり、業務内容をもっと明確にした方が良いのではないかと考えるが、現状と今後の募集方法について伺う。	総務管理部長
		(2)　本市の地域おこし協力隊の雇用形態に対する考え方と今後について伺う。	総務管理部長
		(3)　本市も移住交流施設へ市長自ら足を運んで太いパイプを作って、情報交換と地域で活躍する地域おこし協力隊員の受け入れにご尽力をいただきたいと思うが、所見を伺う。	市　　長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民志創会 成川正幸	４　「関係人口を増やす取り組みについて」 (1)　関係人口に対する市の考えと、今後どのような取り組み方法で関係人口を増やしていく考えなのかを伺う。	市長
		５　「地区役員担い手不足と（仮称）地区懇談会について」 (1)　地域役員の担い手不足を本市としてどのようにとらえているのか。課題があるとすればどのようなもので、どのように解決していくのかを伺う。	総務管理部長
		(2)　（仮称）地区懇談会は、出席者の年齢層の偏りや見識が問われることになるが、いかにして地区住民の意見や提案を行政施策に反映していくのか、また、本市が（仮称）地区懇談会の開催をしようと考えた目的と目標を伺う。	総務管理部長
		６　「いのちを守る防災教育・訓練について」 (1)　本市の総合防災訓練や地区で行われている防災訓練で、有事の際に本当に私たちの命と財産が守れるのかという観点から、本市で行われている訓練の見直しが必要ではないかと考えるが、所見を伺う。	防災危機管理統括監
		(2)　本市には各種のハザードマップが作成されているが、市内小中学校では、これらを使っての訓練などは行っているのかも含めて、防災学習について伺う。	教育部長
		(3)　市民一人一人の防災意識が必要だと考える。7月に第1回防災まちづくり講演会が開催されているが、終えての感想と、本市でも市民意識を変えるために災害の語り部をお呼びしての防災教育をしてはどうかと思うが、所見を伺う。	防災危機管理統括監

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民志創会 成川正幸	７　「北陸新幹線金沢～敦賀間開業3月16日の発表を受けて」 (1)　北陸新幹線金沢～敦賀間開業3月16日の発表を受けて、本市の観光をどのように推進していくのかを伺う。	産業振興部長
		８　「市内海岸に漂着する流木への対応について」 (1)　本市には石田浜海水浴場もあり、また、生地浜海上花火大会などイベントも多く開催され、季節によっては市民が海岸に訪れるなど、楽しむ場所になっている事から、関係機関と連携を密にして、流木対策を講じてほしいと思うが、所見を伺う。	市　長
		(2)　昨年10月から本年5月まで、黒部河川事務所が黒部川の伐採木、流木を無償提供していた。本市としても協力しながら今後も進めていかなければいけないと思うが所見を伺う。	都市創造部長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民同志会 家敷誠貴	1　黒部市における防災力強化の取り組みについて	
		(1)　令和5年7月28日に新たな国土強靭化基本計画が閣議決定された。新たにデジタル活用、地域における防災力の一層の強化が追加されたが、本市のデジタル活用や地域の防災力強化の取り組みについて伺う。	防災危機管理統括監
		(2)　現在、ドローンを使った防災訓練を行っているが、マイナンバーカードを利用した避難所運営（本人確認等）や、スマートフォンのアプリを使った災害発生時の避難場所誘導を行ってはどうか伺う。	防災危機管理統括監
		(3)　今年度、防災まちづくり講演会、防災訓練を行ったが、防災計画をたてるワークショップを行ってはどうかと思うが、今後の展開など想いを伺う。	市　長
		2　市内労働力人口について	
		(1)　本市における産業別人口の推移、現在の状況、今後の見込みについて伺う。	産業振興部長
		(2)　各機関と連携し、高校生に対するふるさとキャリア教育の機会、市内企業とのマッチングの支援を行い、労働力人口の地域定着を図る必要があると考えるが伺う。	産業振興部長
		3　コミュニティ・スクール、ふるさとキャリア教育について	
		(1)　黒部市が考える、コミュニティ・スクールのあり方、導入の予定について伺う。	教育長
		(2)　14歳の挑戦受け入れ事業所がなかなか見つからないと聞いているが、貴重な職場体験の場を継続するため、また、教職員の負担軽減のため、民間の方にコーディネートをお願いしてはと考えるが所見を伺う。	教育長
		(3)　14歳の挑戦や地域人材等招聘学習事業等のふるさとキャリア教育の取り組みについて伺う。	教育長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民同志会 家敷誠貴	**4　黒部市民病院に関連して**	
		(1)　従来の看護師不足、薬剤師不足に加え、医師の働き方改革が開始されるとさらに人手不足になると考えられるが、人材確保に対する現在の取り組み、今後の対策について伺う。	病院長
		(2)　地域の医療を守るため、効率的な運営が求められるが、病院群輪番制、地域の病院やかかりつけ診療所との連携等、今まで以上に協力が必要になると考えられるが考えを伺う。	病院長
		(3)　9月5日の県周産期保健医療協議会と県小児医療等協議会で、産婦人科医の高齢化や人材不足を懸念する声や、産婦人科医を志す医学生が少なく、若手確保が難しいとの声が上がったと聞いた。産婦人科継続のための考えを伺う。	病院長
		5　くろべ市民交流センター「あおーよ」開館に関連して	
		(1)　10月6日のくろべ市民交流センター「あおーよ」開館に向けた、それぞれの施設の準備状況、実際に使用する団体との調整（設備等）など、進捗、予約状況を伺う。	総務管理部長
		(2)　「あおーよ」の年間利用者数をどの程度と考えているか伺う。	総務管理部長
		(3)　多くの市民に利用していただくためには、定期的にイベントを開催するなど、まずは「あおーよ」に来て、見てもらう事が重要だと思うが、開館後のイベントなどの予定を伺う。	総務管理部長
		(4)　「あおーよ」に機能移転する黒部市民会館の跡地利用について、「建物を解体し、跡地利用の方向性を検討」と聞いている。駅前にあり、敷地も広いため広く意見を集め、早急な判断が必要だと考えられるが見解を伺う。	市　長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
3	自民クラブ 辻　泰久	**1　観光客誘致と今後の対応について**	
		(1)　8月7日開催の県市議会議長会の富山県知事との懇談会において本市の中村議長が観光面の支援を求めたところ知事の答弁は大変感触がよかったと報道されています。今後どの様に県への支援を上手に求めていくのか伺います。	市　長
		2　病院事業について	
		(1)　4月から院長に就任された辻院長は、黒部市民病院をどの様な思いでけん引されるのか伺います。また、今後人口減少が見込まれる中で必要な確保病床数の見込みと他の医療機関との機能分担、医療連携をどの様に考えているのか伺います。	病院長
		(2)　質の高い医療提供体制の構築のためには、職員の働き方改革の推進とともに、医師、看護師、技師などの資質の向上は欠かせません。姉妹都市であります大崎市民病院と相互応援協定や医師、看護師の交流を図る考えがないか伺います。	病院長
		(3)　手術支援ロボット「ダビンチ」が本年7月に導入されたが現状と今後の展開について伺います。	病院長
		(4)　災害拠点病院であるのに浸水害に備えた事業継続計画が策定されていないとの事であるが今後の対応について伺います。	病院事務局長
		(5)　原油価格高騰と、電気代などの大幅な値上げ等による光熱水費増加への対応と今後の見通しについて伺います。	病院事務局長
		3　若い女性のふるさと回帰について	
		(1)　人口減少の要因はいろいろ考えられるが特に若い女性が都会に出て故郷に戻らないことがあげられる。どうすれば若い女性が故郷に戻って来てくれるのか、県と一体となって検討する必要があると思います。市長の見解を求めます。	市　長

質問順	会　派　名 質　問　議　員	質　問　事　項	答　弁　者
3	自民クラブ 辻　　泰　久	４　北方住宅について (1)　北方住宅の保存継承について検討するとの事であったがその後どの様に進んでいるのか現況と今後の対応を伺います。	市　　長
		５　警察署の再編について (1)　県東部エリア、また本市を含む新川東エリアの再編計画の現状を伺います。	市　　長
		(2)　本市において2か所の建設候補地が選定されていますが、市内2か所の候補地の特徴や、優位性について伺います。	市　　長
		(3)　県東部エリアにあっては、いずれの建設地も決定されていないが、市として新川東エリア警察署建設予定地の早期決定に向けた今後の取り組みについて伺います。	市　　長

■提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（個人）

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	松倉孝暁 (一問一答方式)	**1　マイナンバーカードについて**	
		(1)　マイナンバーカードを健康保険証として利用できる市内医療機関と薬局の状況はどこまで進捗しているか伺う。	市民福祉部長
		(2)　マイナンバーカードのメリット・デメリットについて市としての見解を伺う。	総務管理部長
		(3)　マイナポータルで受けることのできるサービスはどのようなものがあるのか伺う。	総務管理部長
		2　健康寿命延伸にかかる各種施策に関して	
		(1)　骨粗しょう症の受診率について 『健康日本21』の中で骨粗しょう症の受診率を15%まで向上させる目標が明記された。本市における骨粗しょう症の検診に対する取り組み状況を伺う。	市民福祉部長
		(2)　全国的にも骨粗しょう症の受診率は5%程度と低い状況にあるが、受診率をあげるための施策を伺う。	市民福祉部長
		(3)　HPVワクチンの市のキャッチアップ接種率を伺う。 また、キャッチアップ接種最終年度である令和6年度には、接種期限を迎える高校1年生から27歳相当の未接種者全員に対し、最終期限の告知をする必要性があると思うが計画はあるのか伺う。	市民福祉部長
		(4)　帯状疱疹について 最近は病気に対する認知度も増えてきている。帯状疱疹ワクチンに対する助成を行う自治体もかなり増加傾向にあるが、本市の帯状疱疹ワクチンに対する助成の可能性を伺う。	市民福祉部長
		(5)　認知症に対する治療や予防に対する病院での取り組みについて伺う。 アルツハイマー病の治療新薬『レカネマブ』が厚生労働省の専門家部会において承認された。この新薬の治療について黒部市民病院での受診は可能となるのか、また、受診できるとしたらその時期はいつ頃になりそうか伺う。	病院長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	松倉孝暁 (一問一答方式)	３　市民福祉にかかる物価高騰対策について	
		(1)　ストマに関する物価高の影響とその助成額への対応を伺う。	市民福祉部長
		(2)　障がい者の日常生活用具に関する物価高の影響とその助成額への対応を伺う。	市民福祉部長
		(3)　冬場に向けて灯油高騰に対する補助の必要性について ガソリン・灯油・電気・ガス等の負担軽減策も当面の間継続との政府与党の方針が示された。しかしながら、エネルギー価格は高止まりの状況が長く続いており、この間のいわゆる実質賃金も減少となっていると捉えるのが一般的であると思いますが生活に直結する灯油に対する補助の必要性について所見を伺う。	市　長
		４　道の駅KOKOくろべについて	
		(1)　本年度の来場者目標とその達成に向けた取り組み状況を伺う。 本年度のイベントや企画等検討されているものがあれば都市創造部長に伺う。	都市創造部長
		(2)　同様に、本年度のイベントや企画等検討されているものがあれば産業振興部長に伺う。	産業振興部長
		(3)　コンテナ型宿泊施設の南側の空き地の利活用に対する所見を伺う。	都市創造部長
		(4)　道の駅KOKOくろべを拠点とする近隣市町のイベント連携の可能性、全国道の駅駅長サミットに参加されての所見、市長の新しいアイデアなど道の駅KOKOくろべに対して思い描く市長のビジョンについて伺う。	市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	長谷川　恵　二 (一問一答方式)	**1　学校教育の給食費無償化について**	
		(1)　学校教育における、給食の位置づけについて確認したい。	教育長
		(2)　給食費徴収の年間総額はいくらか、市の総予算に占める割合はいかほどか。	教育長
		(3)　保護者負担を定めた学校給食法11条は、公費負担の妨げとはならないと国会答弁もあるが、どう考えるか	教育長
		(4)　昨年12月定例会では私も含め、4人の議員から給食費無償化への対応を求められているが、現時点での検討状況はどうなっているのか。子育て支援として、また有機農業先進地域では有機野菜を給食に優先調達することで、有機農業普及の支援となっているとも聞く。	教育長
		(5)　給食事業者の経営状況は大丈夫か。昨今事業者の破綻が大きな話題となっているが、当市ではありえないこととは思うが状況を確認しておきたい。	市　　長
		2　マイナンバーカードと健康保険証について	
		(1)　マイナカードと健康保険証のデータで紐づけされていないものが全国で40万件あると報道されているが、当市での状況はどうなのか。紐づけがいつまでに完了するのか、今後の見通しは。	市民福祉部長
		(2)　マイナカードに関わる事故事象は、当市では起きていないと聞いているが再度確認したい。	市民福祉部長
		(3)　市民病院での資格確認や自己負担割合の表示ミスなどの現状はどうか。	病院事務局長
		(4)　マイナカードの取得率の現状は、来年10月までに全員が取得する見通しは立っているか。取得できない人には、保険証も届かないということか。	市民福祉部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	長谷川　恵　二 (一問一答方式)	**２　マイナンバーカードと健康保険証について**	
		(5)　18歳到達年度末までの医療費無償化を県内でも早く導入した当市として、心配なのは、マイナカードによる保険証を利用した際に、自治体ごとにバラバラな適用年齢が正しく反映されるのかどうかだが、適正な運用がなされるのか伺う。	市民福祉部長
		３　国民健康保険税の引き下げについて	
		(1)　国民健康保険は、国保法第1条「国民健康保険事業の健全な運営を確保し、もって社会保障及び国民保健の向上に寄与する」とある通り、社会保障制度のひとつであり、加入者同士が支えあう相互扶助ではないと思うが、社会保障制度のひとつであることをまず確認したい。	市民福祉部長
		(2)　国保は、社会保険未加入の人を対象にしており、無職者も含まれ、その割合が全国では4割以上に達しているが、当市での現状はいかがか。	市民福祉部長
		(3)　加入世帯及び加入者一人当たりの所得はいかほどか。	総務管理部長
		(4)　非課税所得の世帯にかかる国保税は、無職の一人暮らしの場合でも均等割・平等割併せて72,400円となるが、これが適正と考えるか。	市民福祉部長
		(5)　国保税が高くなっている原因の一つとして、医療費に対する国庫負担率が45%から30%程度までに引き下げられたことがあります。2014年に全国知事会が国保に1兆円の公費負担を求めたが未だに実現していません。今後市として国への働きかけなどを行う予定はあるのか。	市　　長
		(6)　あらためて保険税の早期引き下げを、特に応益割の部分から求めるが、いかがなモノか。	市　　長

質問順	質　問　議　員 (質　問　方　式)	質　問　事　項	答　弁　者
		４　決算上のいくつかの問題について	
2	長谷川　恵　二 (一問一答方式)	(1)　下水道の公共ます設置後の下水引き込みは遅滞なく行うこととなっているが、下水道未加入者の加入促進について。	都市創造部長
		(2)　石田企業団地の借地についての売却は済んだのか。新石田企業団地の未売却用地の売却見通しはどうなのか。	産業振興部長
		(3)　旧土地開発公社が管理していた土地を含めた市保有未利用地の保有状況と今後の処分方針について。	総務管理部長
		(4)　くろべ牧場まきばの風の経営改善について、先の議会でも質問したが、黒字化の目標設定がないがどうなのか。	産業振興部長
		(5)　宇奈月ビールの決算について説明願いたい。とりわけ発足時に当市が拠出した資金の返済の見通しはどうなるのか。	産業振興部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	古川和幸 (一問一答方式)	**1　住み良い・暮らし良い・社会環境施策について**	
		(1)　黒部市における介護施設の今後の整備予定について伺う。	市民福祉部長
		(2)　特別養護老人ホームの現状について伺う。新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合(1市2町)及び本市内にある特別養護老人ホーム3施設の待機状況について伺う。	市民福祉部長
		(3)　特別養護老人ホームで、スタッフ不足等により新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合管内では、休床しているところがあると聞いているが、本市の特別養護老人ホームではどのような状態か伺う。	市民福祉部長
		(4)　黒部市民のあらゆる方々が安心して暮らせる高齢者ニーズに合わせた社会福祉施設の考え方について、市長の考えを伺う。	市　長
		2　宇奈月温泉開湯100周年記念事業の現状と今後の「黒部宇奈月キャニオンルート」について	
		(1)　R5年度宇奈月温泉開湯100周年記念事業がスタートして、約半年が経過しているが、現在の状況について伺う。	産業振興部長
		(2)　今後の開湯100周年記念事業実行委員会の主な活動について伺う。また次年度に向けて、次の100周年に向けた計画について伺う。	産業振興部長
		(3)　県内随一の観光地という事もあり、富山県では更なる活動に向けてバックアップするとの事ですが、本市としては今後の活動(補正予算含め)に対して、なにか具体的な動きはあるのか伺う。	産業振興部長
		(4)　「黒部宇奈月キャニオンルート」について、8/31に県の黒部ルート一般開放・旅行商品化準備会議より発表がありましたが、具体的な事業内容について伺う。	産業振興部長

質問順	質　問　議　員 (質　問　方　式)	質　問　事　項	答　弁　者
3	古　川　和　幸 (一問一答方式)	2　宇奈月温泉開湯100周年記念事業の現状と今後の「黒部宇奈月キャニオンルート」について	
		(5)　「黒部宇奈月キャニオンルート」の黒部市独自のPR活動について伺う。(県やJTBとは別)	産業振興部長
		(6)　R6年度「黒部宇奈月キャニオンルート」を含め関係・交流人口の増加に向けて、本市における観光のあり方についてどのように考えているのか伺う。(次年度予算も含め)	市　　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
		1　市内保育所等の入所に係る現状について	
4	柳田　守 (一問一答方式)	(1)　市内保育所は、市立・私立を合わせ、保育所は11施設、認定こども園(保育所部)は4施設、計15施設であるが、令和5年度における入所児童数及び対応する保育士数並びに保護者の入所希望に沿うことが困難な保育所等があるのかなど、本市の入所に係る現状を伺う。	市民福祉部長
		(2)　各保育所とも、年度初めに比べ年度末においては、入所児童数が増加しこれに対応する保育士数も増員する必要があるが、様々な理由により途中入所等を希望する保護者の要請に応えることができる状況にあるのか伺う。	市民福祉部長
		(3)　子ども・子育て支援法第19条第2号に掲げる「保育の支給要件」としては、満3歳以上の小学校就学前子どもであって、保護者の労働又は疾病その他の内閣府令で定める事由により家庭において必要な保育を受けることが困難であるもの、また同条第3号において、同じく満3歳未満の子どもが対象であるとする。全国的な基準ではあるが、その運用は各自治体において相違もみられると聞く。この入所に係る運用基準をどう捉えているのか伺う。	市民福祉部長
		(4)　近年、本市に限らず若手保育士の離職が増えていると聞く。市立保育所における動向及びその要因等をどう捉えているか伺う。加えて保育士不足も顕著であると聞くがその実態はどうか。また本市の保育所入所児童数に影響を与えているのか合わせて伺う。	市民福祉部長
		(5)　本年6月、「次元の異なる少子化対策」の実行計画として、こども未来戦略方針が閣議決定され、児童手当、育休手当等の大幅な拡大とともに、「こども誰でも通園制度」が示された。これは親の就労を問わず、時間単位で保育施設の利用を可能とし、原則両親が働いていないと利用できない保育施設のあり方を大きく変えることになると思われる。全ての保護者が希望すれば、こどもを預けられる画期的な制度と考えるが、これに対する所見を伺う。また、本市において保育施設の現状も含め、実現可能なのかどうか合わせて伺う。	市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
		２　市職員の不祥事再発防止対策等と庁内研修のあり方について	
4	柳田　守 (一問一答方式)	(1)　職員の不祥事及び不適切な事務処理等の発生を受け、3回にわたる不祥事等再発防止委員会のほか専門的な知見を有する方による有識者会議、さらにはこれを受け「外部団体会計事務処理マニュアル」を作成し、8月23日に一部職員に対し事務処理マニュアル説明会を行ったとされるが、有識者会議の助言内容や事務処理マニュアルの内容を具体的に伺う。	総務管理部長
		(2)　年内において職員コンプライアンス研修や職員倫理規程等の周知徹底を随時行うとあるが具体的な内容等を伺う。また、職員の資質向上に係る対応策も益々重要になる。公務員として価値を出し続けるためのスキルや知識の習得、そのための学びなおし「リスキリング」のニーズが高まっていると考えるが、本市の対応を合わせて伺う。	総務管理部長
		(3)　職員定数及び定員適正化計画等について伺う。平成18年の新黒部市市制施行以来、職員数は年々減少してきたが、概ね10年後の平成27年頃からは職員数には大きな増減はないものと考える。本年4月までの職員数の変遷及び数値等を確認したい。	総務管理部長
		(4)　昨年来から若手市職員等の離職が増えていると聞く。定年あるいは勧奨退職者を除く行政職職員等の離職は何名程度いるのか。また、その離職理由等を把握されていれば伺う。	総務管理部長
		(5)　ここ数年来、市職員の業務量は従前に比して増加傾向にあるのではないかと考える。各分野における職務内容の高度化・緻密化あるいは住民要望(議員要望を含む。)等の複雑化、さらには職員に対する幹部職員等からの様々な指示や大きな期待などが複合され、中堅・若手職員にはかなりの負荷がかかっているのではないかと憂慮するがこれに対する所見を伺う。またDX等に対応する人材育成、人材確保、能力を発揮しやすい職場環境の確立のため、一定数の職員採用(増員)も不可欠であると考えるが、合わせて市長の所見を伺う。	市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
		３　黒部宇奈月温泉駅周辺の活性化策について	
4	柳田　守 (一問一答方式)	(1)　8月全協で示された黒部宇奈月温泉駅乗降人数調査では、本年8月11日(金・祝)の乗降人数は2,949人、過去最大の平成27年の同時期の81.2%。また連休時の5月３日は3,258人、同95.6%とあり、新幹線利用者数は、確実にコロナ禍前の状況に戻りつつあると思うが、黒部宇奈月キャニオンルート利用者のうち、宇奈月温泉宿泊者の人数をどの程度と試算しているか伺う。また黒部宇奈月温泉駅利用者はどの程度と算出しているかを合わせて伺う。	産業振興部長
		(2)　平成27年の北陸新幹線開業から8年半経過する今も、駅周辺に飲食店や宿泊施設、その他利便施設がほとんど無く不便さを指摘する観光客等の声を聞く。キャニオンルートの始動を間近に控えた今、交通結節点であるとともに県東部の玄関口(イーストウイング)である新幹線駅周辺の賑わい・活性化が益々重要になると思われるが、見解を伺う。	市　長
		(3)　6月議会で示された資料では、駅周辺整備のデザインコンセプトは「森の中の駅」、また本市の人口規模等から駅周辺に新たな市街地は誘導せず、民間開発による自然発生的な街並み形成に期待するとある。さらに現状と課題として①駅周辺の商業施設、住宅の集積等の検討、②市所有の6haの敷地の施設配置のあり方(公園活用・駐車場・カフェの誘致等)検討、③賑わいの不足が指摘される駅東口交通広場を見直しし、利用者の利便性が高まるよう検討する必要があると記載されるが、具体的にいつまでに結論を出し、対応される予定か伺う。	市　長
		(4)　賑わい創出策として、最小限の必要施設として飲食店、カフェ、宿泊施設(ビジネスホテル)の誘導・招致の検討を期待したい。敷地はいずれも市有地又は現行借上げ地を活用することとし、具体的には地鉄新黒部駅広場、地域観光ギャラリー内、又はふれあいプラザ内で検討することを提案する。ホテルについては、地鉄新黒部駅連絡上屋海側の借上げ地又は荻生地内の西側利用者利便ゾーンの一角を候補地として検討されればと思うが所見を伺う。	市　長
		(5)　新幹線開業前の平成22年に新幹線駅東側の若栗地内「市道若栗22号線」沿線地域において、建築物を新たに新築、増築する場合、高さや色彩を制限することができる「景観づくり住民協定」を締結したと記憶するが、その目的、期間、内容等を伺う。	都市創造部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	中野得雄 (一問一答方式)	1　防災について	
		(1)　防災訓練については、すべての市民を対象として行うことが重要と考える。老若男女及びペット参加の訓練を実施すべきと考えるが如何か伺う。	防災危機管理統括監
		(2)　既存施設等の活用により、防災拠点の位置づけとなる「黒部市防災センター」的な施設を整備し、現在、地区輪番としている防災訓練について、この施設で実施しては如何か伺う。	防災危機管理統括監
		(3)　防災・災害対応を強化するため、防災・土木・河川・消防等の専門的な知見を有した多様な人材を配置した「災害・防災課」を当市に設置しては如何か伺う。また更には、市職員の防災意識向上を図ることを目的として、防災スペシャリスト育成を図っては如何か併せて伺う。	市　長
		2　黒部市地域おこし協力隊について	
		(1)　5代目の地域おこし協力隊員が8月31日付で任期終了し退任され、6代目となる協力隊員を募ることとなるが、早期の募集と黒部市の啓蒙活動及びより多くの情報発信を行っていただくため、思い切った人数の募集を計画しては如何か伺う。	総務管理部長
		(2)　地域おこし協力隊が総務省の指針で実践され、今年で15年となるが、当市において見えてきた課題と今後の方針について伺う。	総務管理部長
		(3)　初代隊員より継承されている事業の中で、今回は武隈市政として初めての募集となるが、市長としてどの様な思いが有るのか伺う。	市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	中野得雄 (一問一答方式)	３　地域連携による除雪等について	
		(1)　以前「思いやり除雪」について答弁をいただいたが、その後の地域・民生委員・自治振興会との協議成果について伺う。	都市創造部長
		(2)　高齢者世帯・ひとり暮らし世帯宅等前の除雪塊処理について、市がサポート(料金補助等)し地区と連携することで、除雪対応を行うことが出来ないか伺う。	都市創造部長
		(3)　除雪した雪を貯蔵し、夏場の冷房に活用する実証実験を行い、費用対効果等を検証する事業を提案するが如何か伺う。	都市創造部長
		４　新川地区獣肉加工施設支援について	
		(1)　当市に於いては、捕獲したイノシシの有効活用について鳥獣対策の延長線上にあると理解している。「新川地区獣肉生産組合」を支援してきたが、改めて組合設立に至った経緯について伺う。	産業振興部長
		(2)　「新川地区獣肉生産組合」は、設立翌年の令和元年から本格稼働し5年目を迎えているが、この間の組合の経営状況について伺う。	産業振興部長
		(3)　鳥獣被害の軽減に向け、行政が必要な支援を継続し、今後についても持続可能な経営を維持すべきと考えるが如何か伺う。	産業振興部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	木島信秋 (一括方式)	**1　通学路の整備及び今後の学校統合について**	
		(1)　市道南線と一般県道本野三日市線の交差点改良について ①　信号機新設の可能性はあるのか	都市創造部長
		(2)　市道生地中新線の歩道、通学路の整備について ①　これまでも毎年少しずつ進捗しているが、完了はいつなのか ②　課題は、事業所、民家との合意だと思うが、進んでいるのか	都市創造部長
		(3)　あいの風とやま鉄道の第一生地踏切の拡幅について ①　拡幅事業は実施できるのか、又、何が課題なのか ②　あいの風とやま鉄道への要望は行っているのか	都市創造部長
		(4)　今後の小学校の統合について ①　統合の計画はあるのか ②　あるのならば、何処と何処なのか	教育長
		2　ゲリラ豪雨に耐えうる排水路の改修について	
		(1)　大野川分水路について ①　嵩上げ工事の完成はいつなのか ②　嵩上げ工事を実施すれば道路橋も上げるべきでは	産業振興部長
		(2)　西背戸川改修事業について ①　何故、両側の矢板工事になったのか、土間は無理なのか ②　説明会で納得してもらえるのか ③　大野川分水路との合流地点の排水機場について、新規整備できないのか	都市創造部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	木島信秋 (一括方式)	**３　高橋川への架橋について** (1)　高橋川への架橋について ①　実施計画はあるのか	市　長
		４　黒部市の漁業展望について (1)　黒部市の漁業展望について ①　これまで半年間の事業内容及びその成果と評価について ②　今後、松本市との連携はどうなるのか	市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
		1　地区要望会について	
7	野村康幸 (一括方式)	(1)　4月より市内16地区を訪問し、「地区要望会の在り方」について説明をされていますが、改めてどのような説明をされ、各地区に対しどのような理解を図ってきたのかを伺う。	総務管理部長
		(2)　市側の説明を受けて、地区側から出た疑問点にはどのようなものがあったのか伺う。	総務管理部長
		(3)　地区要望会の段階的な見直しをする背景のひとつに「これまで以上に地域及び市民の皆様のまちづくりに寄り添う」とありますが、疑問点が出た後、どのように寄り添い、伴走支援をされているのかを伺う。	総務管理部長
		(4)　「直接対話形式」で実務者による対応方針説明と「(仮称)地区懇談会」の2段階方式に分けられた意図について伺う。	市　長
		(5)　今回見直された形式の最終形が、直接対話形式は「説明会の内容について市長へ報告」、(仮称)地区懇談会は「全地区版の報告書(会議録)の配付」となっています。両者ともに、記録としては残すものの地区から出た切実な要望を具現化していくための方策が見えてきません。併せて、武隈市長が就任されてから「未来会議」などのまちづくり会議を開催されていますが、これらの会議を通してどのように具現化し市政に反映させていくのか伺う。	市　長
		(6)　直接対話及び(仮称)地区懇談会共に平日の日中に開催する提案を市側からしているとお聞きしています。平日日中開催案だけではなく、平日夜間若しくは休日夜間などフレキシブルに対応できるよう日程調整出来ないのかを伺う。	市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
		２　宇奈月温泉活性化について	
7	野村康幸 (一括方式)	(1)　4月から実施してきております「宇奈月温泉開湯100周年記念事業」ですが、冠だけが先行し、宇奈月温泉のみのイベントになっているように感じます。先月25日に開催された大相撲黒部場所においても、冠がついた事業であり、市長の挨拶で「宇奈月温泉開湯100周年」をPRされておられましたが、一体感の醸成はまだまだだと感じました。市長はこの一体感についてどのように感じておられるか所見を伺う。	市長
		(2)　併せて、本年も下半期に差し掛かるのと来年には黒部宇奈月キャニオンルートが開通することを鑑みると、更に機運の醸成を図っていかなければならないと思うのですが、市長の所見を伺う。	市長
		(3)　次なる100年を見据えたときに、新たな観光コンテンツの一つとして黒部川扇状地や能登半島を見渡すことができる魅力的な景観を生かすべく、ゴンドラリフト計画を複数年かけてでも具現化するべきだと考えますが、市長の所見を伺う。	市長
		(4)　「世界一美しいスターバックス」が富山市にあるのならば、「世界一絶景なスターバックス」として、老若男女問わず好むコーヒーショップなどの誘致に本腰を入れて行動を興すべきだと考えますが、市長の所見を伺う。	市長
		(5)　復調の兆しを見せる宿泊客ではありますが、コロナ以前の数字にまずは戻すことが、宇奈月温泉の活性化に繋がると考える。黒部市独自の宿泊補助制度を創設し、県内外にPRすることで人を呼び込む取り組みをしては如何かと考えるのですが見解を問う。	産業振興部長
		(6)　外国人観光客が宇奈月温泉に宿泊することで、お得になる仕組み（例えばアルペンルートのチケット無料化など）を構築できないか見解を問う。	産業振興部長
		(7)　宇奈月温泉活性化に必要なことは何だと考えるかを問う。	市長
		(8)　次なる100年に向けて今を生きる我々が何をしなければならないと考えるかを問う。	市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	大辻菊美 (一問一答方式)	1　保育所・認定こども園・幼稚園の環境整備について	
		(1)　グラウンドには、子どもたちが喜ぶ雲梯やブランコ、鉄棒などの遊具が設置されている。遊具点検判定基準にはA－E判定があり危険遊具と判定され使用できない遊具がある。保育所等の危険遊具の現状について伺う。	市民福祉部長
		(2)　遊具点検判定のC判定は修理または塗装が必要な場合となっているが、修理がされないまま5年以上経過している遊具が多く見受けられる。子どもたちには気持ちよく伸び伸びと遊んでほしい。修理について伺う。	市民福祉部長
		(3)　今夏の猛暑により、遊戯室を使用できない日があったと聞く。地球温暖化による異常気象は年々、予期しない現象が生じている。遊戯室の空調(冷房)整備が必要と思われる。設置について伺う。	市民福祉部長
		2　小学校・中学校の環境整備及び、災害時指定避難所としての備えについて	
		(1)　グラウンドには様々な遊具が設置されているが遊具点検で危険遊具と判定され使用できない状態や修理が必要な遊具がある。点検状況について、また、今後の修理等について伺う。	教育部長
		(2)　体育館は熱中症になるリスクが高い場所にもかかわらず空調(冷房)整備がされていない。児童・生徒の日常の安全・安心を守るため、また、小中学校は災害発生時においては、地域の指定避難所として指定されていることからも、体育館の空調(冷房)整備について伺う。	市　長
		3　ごみの減量化とリサイクル活動の推進について	
		(1)　一般家庭から排出される生ごみのディスポーザによる処理について、利用する一般家庭と本市それぞれのメリットについて伺う。	都市創造部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
		３　ごみの減量化とリサイクル活動の推進について	
8	大辻菊美 (一問一答方式)	(2)　公共施設でのディスポーザ設置状況及び一般家庭でのディスポーザ設置目標、設置状況について伺う。	都市創造部長
		(3)　ディスポーザを設置した場合、一般家庭に1基あたり設置費用の1/2(上限3万円)の補助金があり、設置後の下水道使用料に追加負担はない。普及にあたっての啓発活動について伺う。	都市創造部長
		(4)　ごみ排出量、再生利用量及び、リサイクル率の本市の状況について、また、近隣の市町と比較した場合の現状について伺う。	市民福祉部長
		(5)　リサイクル率を伸ばすためには、常設資源回収所の増設、設置場所の受け入れ日数、品目数等の増が必要と思うが本市の見解を伺う。	市民福祉部長
		(6)　リサイクル活動の推進を図っていくための啓発活動について伺う。	市民福祉部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	高野早苗 (一問一答方式)	**1　聴覚障がいについて**	
		(1)　聴覚の障がいがある方の本市の現状、及びその支援策について伺う。	市民福祉部長
		(2)　「黒部市コミュニケーション支援事業」においての手話通訳者の派遣実績、及び手話通訳者を本市独自、あるいは広域圏で設置する考えについて伺う。	市民福祉部長
		(3)　遠隔手話通訳サービスの導入について伺う。	市民福祉部長
		(4)　黒部市手話講習会の普及策について伺う。	市民福祉部長
		(5)　高齢者の聴覚検診及び補聴器補助制度のPRについて伺う。	市民福祉部長
		(6)　手話言語条例制定の考えについて伺う。	市　長
		2　結婚支援事業について	
		(1)　結婚する人の減少は、少子化による人口減少につながり、地域が衰退の一途をたどる一因となるため、市としても結婚を希望する人が結婚できるように支援していくべきと考えるが、本市が結婚支援事業を推し進めている目的について改めて伺う。	総務管理部長
		(2)　これまで市が取り組んできた結婚支援事業について、目的の妥当性、有効性、効率性についてどのように評価しているのか伺う。	総務管理部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
		２　結婚支援事業について	
9	高野早苗 (一問一答方式)	(3)　今年8月、黒部市は、ベンチャー企業㈱Another worksと連携協定を締結し、市の業務に複業人材を活用する実証実験を開始するとの報道があった。結婚支援事業においても結婚支援アドバイザーを募集するとのことだが、このアドバイザーが担う具体的な業務内容とその募集状況について伺う。	総務管理部長
		(4)　これまで市が取り組んできた結婚支援事業や結婚支援専門員による相談窓口、市民による婚活サポーターの活動などと、新たな結婚支援アドバイザーとの関わりはどのようになるのか伺う。	総務管理部長
		(5)　第2次黒部市総合振興計画後期基本計画の策定にあたり、人口減少社会への対応を掲げられており、その中で、市外等から人を呼び込む取組や地域定着の取組に加えて、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進すると記載されている。子どもを産み育てやすいまちづくりの前段ともいえる、結婚を望む男女を応援する結婚支援事業について、後期基本計画の中でどのように位置づけ、取り組んでいくのか伺う。	市　長
		(6)　恋人つなぎも人つなぎである。10月6日にオープンする「あおーよ」内に新設される、新たなつながりの場を創造する「移住・人つなぎ支援センター」が担う役割の全体像と、個別事業について、どう展開していくのか伺う。	市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
10	橋詰 真知子 (一括方式)	1　地域おこし協力隊について	
		(1)　今から募集を開始する状況では、10月6日オープンに間に合わないと思いますが、このことについての見解をお伺いします。	市長
		(2)　なぜ募集開始が遅れたのか説明と見解をお伺いします。	市長
		(3)　募集と選考が遅れた影響があると考えますが、運営と組織体制に問題はないのかお伺いします。	市長
		2　防災について	
		(1)　黒部市の防災情報は、屋外拡声子局、戸別受信機、市のホームページ、防災メール、公式ライン、みらーれテレビなど様々な方法で情報発信されていることは認識しております。これらの情報配信の手順や運用についてお伺いします。	防災危機管理統括監
		(2)　市の防災メールについては、現在は消防職員による手入力配信であることと市は改善を検討している、しっかり議論して対応するとのことは先日の新聞報道でも明らかになっているところであります。 この件に関する市の見解と現在の状況をお伺いします。	市長
		(3)　黒部市の防災教育の一環として、小学生～中学生のいずれかの学年での校外学習の行先・内容として、四季防災館での体験を提案します。この提案についての所見をお伺いします。	教育長

質問順	質　問　議　員 (質　問　方　式)	質　問　事　項	答　弁　者
		３　子育て環境について	
10	橋　詰　真知子 (一括方式)	(1)　今子育て中の保護者の方々の情報収集の方法について、広報くろべ・ホームページ・フェイスブック・公式ライン・子育てアプリなど何を利用しているのか市として把握しているのかお伺いします。	市民福祉部長
		(2)　子育てアプリ「すこやかくろべっ子アプリ　by　母子モ」について、黒部市では、昨年2022年9月１日からサービス開始となり、1年たった今現在の登録者数をお伺いします。	市民福祉部長
		(3)　このアプリは母子健康手帳を補完するものとのことですが、市がこのアプリに期待することや今後の活用についてお伺いします。	市民福祉部長
		(4)　パパママサポートセンター「たんぽぽ」について、現在の依頼会員・協力会員、両方会員の数、託児利用者数や利用状況、課題、施設の現状と今後についてお伺いします。	市民福祉部長
		(5)　「黒部市こどもまんなか応援サポーター宣言」をしたことで、今後具体的にどのようなことを考えているのか、どのような未来をイメージしているのかお伺いします。	市　　長

○一括方式とは
　議員が質問項目すべてについて一括して質問し、市長や各部局長が一括して答弁する方式

○一問一答方式とは
　議員が質問項目一問ごと（小項目）に質問し、市長や各部局長がその都度答弁する方式